

6. 家計の状況と経済意識

6-1. 世帯年収と月間小遣い(Q35. FS7)

【男性】

世帯年収が「600万円以上」の割合は、【若年一人っ子家族】では3割強に過ぎないが、【継続一人っ子家族】、【複数子家族】では5割を超える

平均世帯年収も【若年一人っ子家族】:565万円、【継続一人っ子家族】:668万円、【複数子家族】:699万円で、【若年一人っ子家族】と他グループとは100万円以上の差がある。

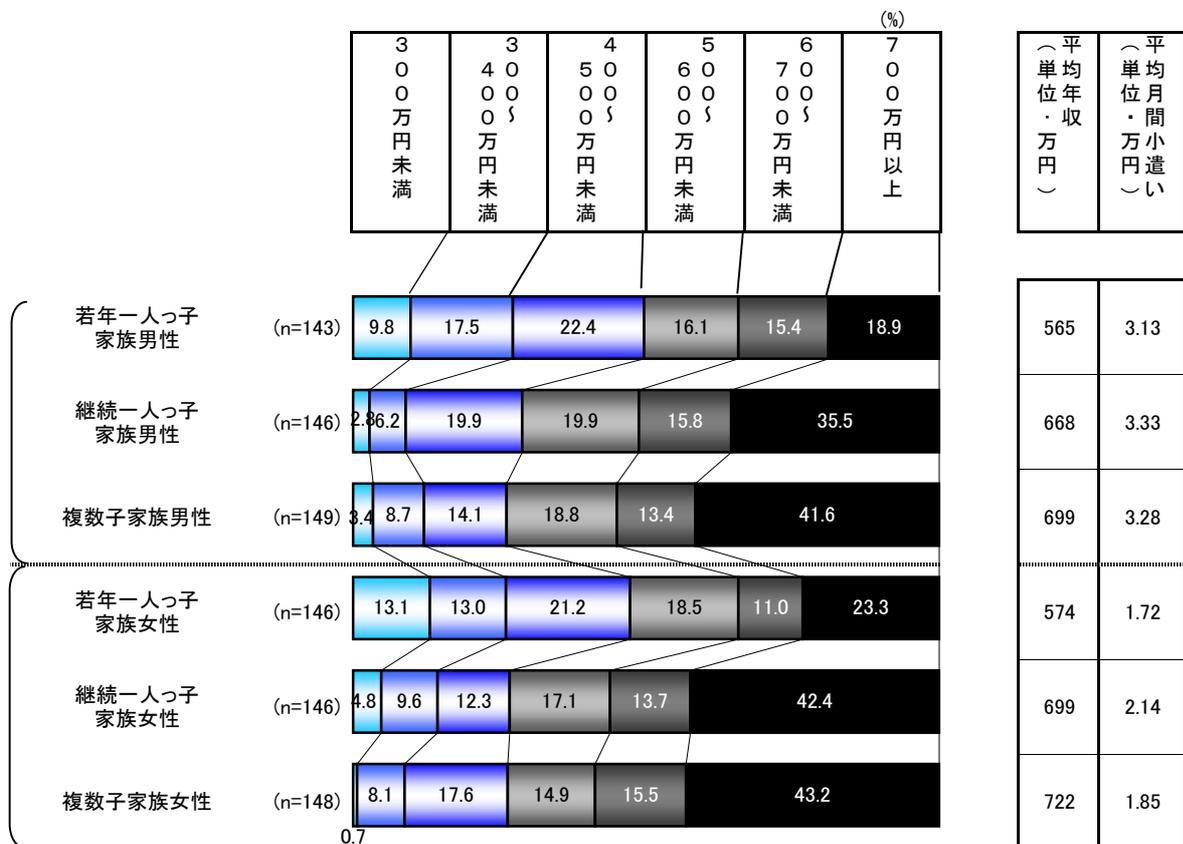
但し、男性本人の月間小遣いは、平均すると3万強であり、年収とはあまり関連していない。

【女性】

女性の場合も同様の傾向がある。【若年一人っ子家族】の平均世帯年収は574万円であるのに対し、【継続一人っ子家族】は699万円、【複数子家族】では722万円と大きな差が見られる。

月間小遣いは男性ほど高くなく、平均で2万円前後。世帯年収も高く、あまり子どもにお金がかからないためか、月間小遣いは【継続一人っ子家族】が最も恵まれている。

図表6-1. 世帯年収および月間平均小遣い(各単数回答)
(基数: 勤労者・無回答を除く)



(注) 平均は非勤労者、無記入を除いて算出

6-2. 世帯年収の増減と家計のゆとり(Q37. Q38)

6-2-1. 昨年と比較しての年収増減(Q37)

【男性】

【若年一人っ子家族】では、「増えた」「変わらない」「減った」という割合はほぼ3等分されている。これに対し、【継続一人っ子家族】、【複数子家族】では「増えた」人の割合より「減った」人の割合の方が高くなっており、「減った」人が半数弱を占めている。

【女性】

女性の場合も男性と同様の傾向がある。

6-2-2. 家計のゆとり(Q38)

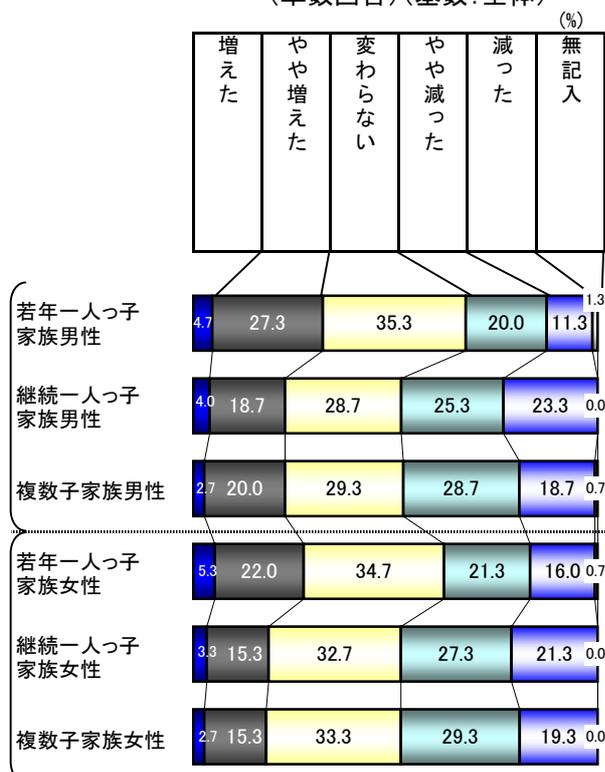
【男性】

どのグループにおいても「あまりゆとりがない／全くゆとりがない」と答える人が大半であるが、特に【複数子家族】では「全くゆとりがない」と答える割合が高くなっている。

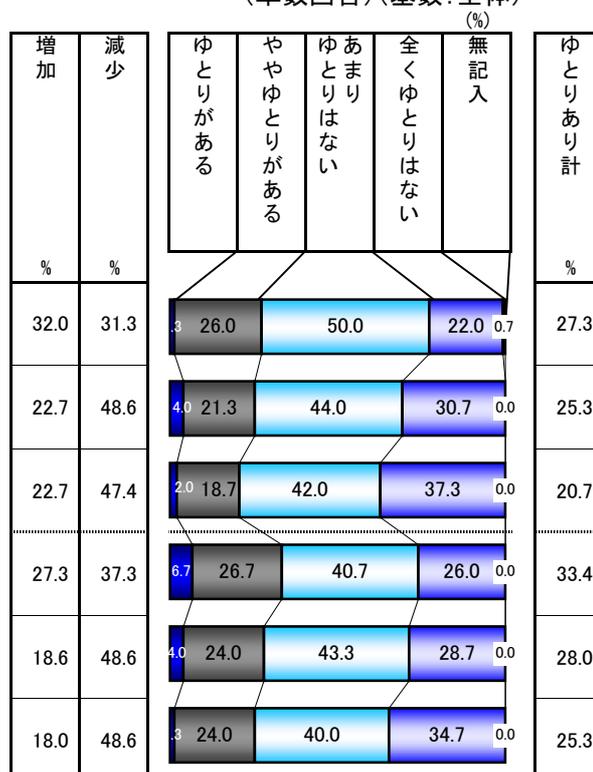
【女性】

女性の場合も男性と同様の傾向がある。

図表6-2. 昨年と比較しての年収増減
(単数回答)(基数:全体)



図表6-2-2. 家計のゆとり
(単数回答)(基数:全体)



6-3. 家計費目に関する認識(Q39)

5つの家計費目に関し、「かかりすぎている費目」と「今後、増やしたい費目」を質問した。

【男性】

かかりすぎている費目をみると、【若年一人っ子家族】では「自分のための金額」「生活用品の購入費」が相対的に多く、「子どものための経費」が少ないのが特徴である。

一方、【継続一人っ子家族】では「生活用品の購入費」が、【複数子家族】では「子どものための経費」が多い。

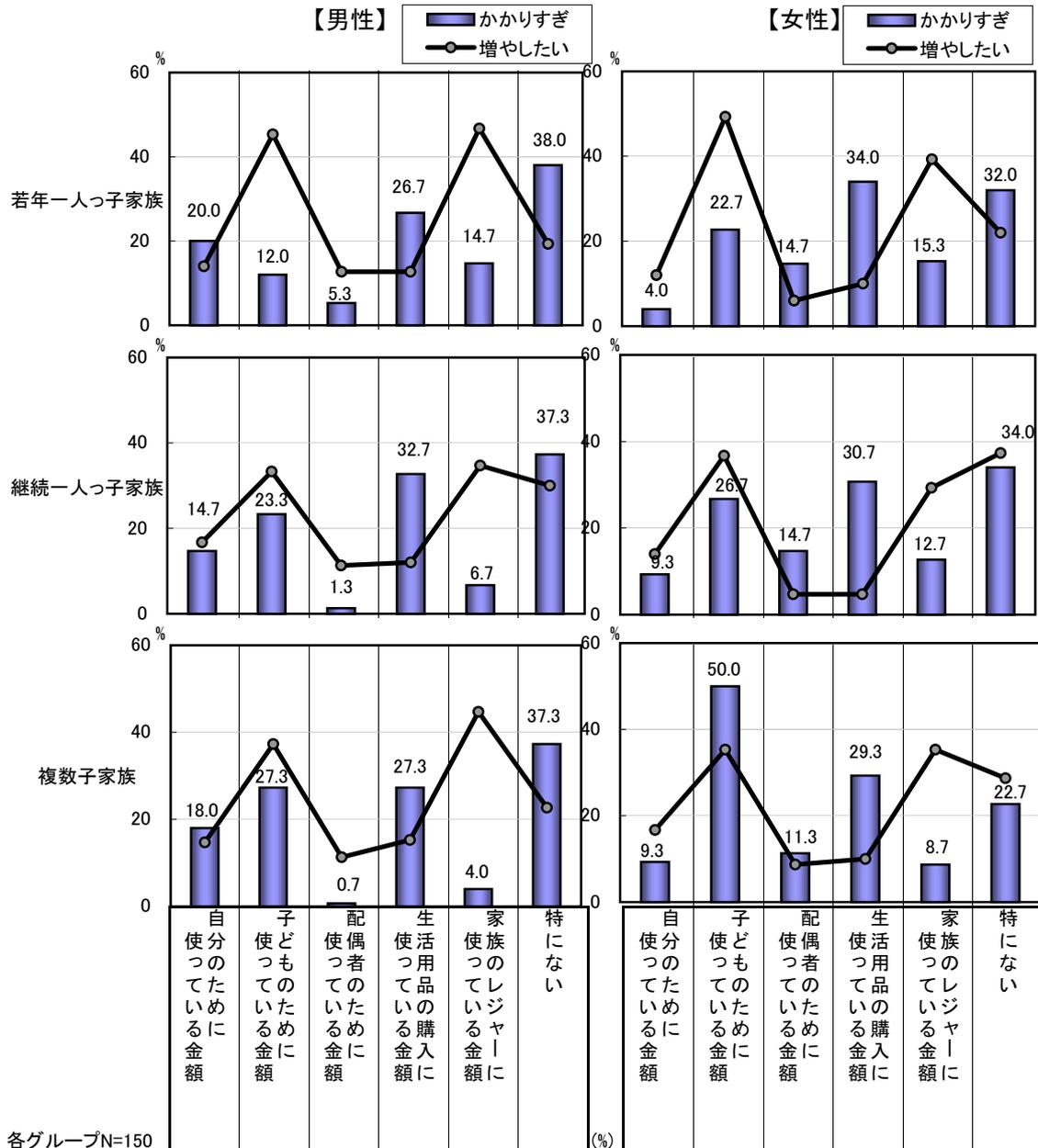
今後増やしたい費目としては、どのグループも「子どものための経費」と「家族のレジャー費」を挙げている。両費目とも、特に【若年一人っ子家族】が増やしたいと答えている。

【女性】

どのグループもかかりすぎる費目として「子どものための経費」と「生活用品の購入費」を挙げている。特に、【複数子家族】ではその半数が「子どものための経費」はかかりすぎる」としている。

「子どものための経費」はかかりすぎとしているものの、5つの費目の中では今後増やしたい費目のトップになっている。

図表6-3. 家計費目に関する認識(複数回答)(基数:全体)各グループN=150



	各グループN=150	【男性】						【女性】					
		自使つのため金額	子供のため金額	配偶者のため金額	生活つての購入金額	家族つてのレジャー金額	特にない	自使つのため金額	子供のため金額	配偶者のため金額	生活つての購入金額	家族つてのレジャー金額	特にない
か か り す ぎ る	若年一人っ子家族	20.0	12.0	5.3	26.7	14.7	38.0	4.0	22.7	14.7	34.0	15.3	32.0
	継続一人っ子家族	14.7	23.3	1.3	32.7	6.7	37.3	9.3	26.7	14.7	30.7	12.7	34.0
	複数子家族	18.0	27.3	0.7	27.3	4.0	37.3	9.3	50.0	11.3	29.3	8.7	22.7
増 や し た い	若年一人っ子家族	14.0	45.3	12.7	12.7	46.7	19.3	12.0	49.3	6.0	10.0	39.3	22.0
	継続一人っ子家族	16.7	33.3	11.3	12.0	34.7	30.0	14.0	36.7	4.7	4.7	29.3	37.3
	複数子家族	14.7	37.3	11.3	15.3	44.7	22.7	16.7	35.3	8.7	10.0	35.3	28.7